



開設

令和3年度 九州産業大学 免許法認定講習 募集要項

令和3年度 文部科学省「幼稚園教諭の人材確保・キャリアアップ支援事業
(幼稚園教諭免許法認定講習等の在り方に関する調査研究)」

※免許法認定講習とは、一定の教員免許状を有する現職教員の方が、上位の免許状や他の種類の免許状を取得しようとする場合に、大学の教職課程によらずに必要な単位を修得するために開設されている講習です。

1

幼稚園教諭

2

特別支援学校教諭

九州産業大学では「リカレント教育」の一環として
「地域の子育てに貢献」することを目的に
上記2つの免許法認定講習を令和3年7月から開設します

- 名称：令和3年度 九州産業大学免許法認定講習
- 会場：九州産業大学 1号館・3号館（福岡県福岡市東区松香台 2-3-1）
- 講習期間：令和3年7月31日(土)～令和3年8月28日(土)
- 問い合わせ先：九州産業大学 教務部 免許法認定講習担当
TEL 092-673-5595
メール ksumenkyo@ml.kyusan-u.ac.jp
- 主催：九州産業大学
- 後援：福岡県教育委員会 福岡市教育委員会 北九州市教育委員会
一般社団法人福岡県私立幼稚園振興協会



1. 開設科目等一覧

※免許状の種類

幼一種免：幼稚園教諭一種免許状取得希望者

特支一・二種免(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)：特別支援学校教諭一種免許状取得希望者・特別支援学校教諭二種免許状取得希望者

① 保育内容(環境) ※演習を含む

担当教員：渡邊 由恵

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
7/31(土)	子どもが身近な環境に好奇心や探究心をもって主体的に関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を育むための保育の在り方について理解を深めることを目的とする。子どもを取り巻く様々な環境の特性と、その環境との関わりが子どもにもたらす体験について、講義と演習を通し学ぶ。演習では、情報機器及び教材の活用を含め、子どもを取り巻く「ひと・もの・こと」から具体的なテーマを取り上げる講習内容とし、さらに、講習内容を踏まえ、自園や自身の保育環境について振り返り、考察することを目指す。	1	15人	幼一種免
8/1(日)				

② 視覚障害児教育総論

担当教員：中村 貴志(福岡教育大学)

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
7/31(土)	視覚障害の基礎、視覚障害者の心理及び教育課程・指導法について概説する。具体的な内容としては、視覚障害の基礎として眼の構造、視機能及び代表的な眼疾患、視覚障害者の心理として視覚障害者の発達特性とその評価を取り上げる。さらに、視覚障害特別支援学校の教育課程及び指導法として自立活動の実践について取り上げる。	1	20人	幼一種免
8/1(日)				特支一・二種免 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

③ 特別な教育的ニーズの理解とその支援

担当教員：阿部 敬信/阪木 啓二

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/2(月)	特別支援教育について基本的な知識を習得し理解を深めるため、特別支援教育の理念、制度、歴史及びインクルーシブ教育システムを解説する。次に、特別支援教育の教育課程を踏まえて個別的教育支援計画・個別の指導計画を解説する。また、特別支援教育を推進するための特別支援教育コーディネーターの役割、特別支援学校のセンター的機能、関係機関との連携、移行期の支援について解説する。さらに、障害はないが特別な教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を理解する。	1	15人	幼一種免
8/3(火)				

④ 肢体不自由児教育総論

担当教員：木船 憲幸

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/2(月)	肢体不自由の定義、姿勢と運動の発達と各発達段階における心理的特徴(心理)、姿勢と運動に関係する感覚と姿勢反射反応の神経生理(生理)、脳神経系の障害と脳性まひと姿勢と運動の障害(病理)について解説して、これらの知見に基づいて、肢体不自由児の発達支援指導法(指導法)について解説する。さらに、特別支援学校学習指導要領等に基づいて肢体不自由教育に関する教育課程の編成と自立活動等における個別の指導計画の作成(教育課程)について解説する。	1	30人	幼一種免
8/3(火)				特支一・二種免 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

⑤ 子どもの健康

担当教員：田中 沙織

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/4(水)	子どもを取り巻く環境が急速に変化する中、子どもの健やかな心身の発育発達に向けては、社会情勢に応じた課題を理解しつつ、家庭と保育・教育現場が協働して環境を整えていく努力が不可欠である。そこで、幼稚園教育要領、保育所保育指針、等を紐解きながら、幼児期から学童期における生活習慣の重要性について、睡眠、運動、食事、メディアとの関わり、安全、家庭との関わり、支援方法などの視点を交えた内容で構成する。さらに、子どもの運動発達に応じた運動遊びを展開していくために必要な知識・技能についても学ぶ。	1	15人	幼一種免
8/5(木)				

⑥ 子どもの言葉

担当教員：上出 恵子

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/4(水)	子どもの言葉の発達過程や子どもの言葉を育てる環境について理解し、子どもたちが豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げ、言語活動の充実をはかるために保育者、乳幼児教育者として必要な専門的知識ならびに実践力を獲得する。幼児期の終わりまでに育てほしい子どもの姿や能力を確認し、子どもの言葉を豊かに育む絵本や紙芝居、子どもの歌などの子どもがふれる文化の理解を深め、子どもの育ちを支える専門職の役割・働きかけの重要性を学ぶ。	1	15人	幼一種免
8/5(木)				

7 知的障害児教育総論

担当教員：阿部 敬信／阪木 啓二

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/4(水)	知的障害児の心理・生理・病理に関する基礎的な理解を図る。次に、知的障害児のアセスメントや指導計画の作成と活用、心理的特性に応じた指導の実際について実践例を通して学ぶ。個別の指導計画を活用した各教科等を合わせた指導の在り方について論じる。また、今次の特別支援学校学習指導要領等の改訂では、知的障害教育における教科等の目標や内容が資質・能力の三つの柱で整理された。このことによる小学校等との教育における「学びの連続性」の確保とそれに基づいた学習評価の在り方について考察を深める。	1	30人	幼一種免
8/5(木)				特支一・二種免 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

8 幼児教育課程論

担当教員：森 暢子

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/6(金)	日々の保育、子どもの姿、遊びの展開を記録し、計画・実践・評価・改善という保育の循環について理解を深め、様々な指導計画の作成をすることにより、実際の保育における展開について学ぶ。 保育現場の具体的な事例を提示することにより子ども理解を深め、子どもの姿からねらいを立て、子どもの発達、生活および遊びに即した保育の計画の在り方、考え方について学びを深める。	1	15人	幼一種免
8/7(土)				

9 保育内容総論 ※演習を含む

担当教員：清水 陽子

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/17(火)	保育のねらいと内容、5領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)との関係、子どもの成長に即した保育内容について理解することが目的である。保育内容および方法の歴史の変遷について説明し、実際の保育現場での総合的活動について解説後、保育実践の向上につながるような演習を行う。さらに、情報機器及び教材の活用を含め、「保育所保育指針」や「幼稚園教育要領」を踏まえ、子どもの成長や発達に即した指導の在り方について解説後、グループ討議や演習の成果発表を通して考察を深める。	1	15人	幼一種免
8/18(水)				

10 LD等・重複障害教育総論

担当教員：阿部 敬信／阪木 啓二

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/17(火)	発達障害・情緒障害・言語障害・重複障害の概念・定義、教育課程及び心理・生理・病理を踏まえた指導の基礎について理解することを目標とする。具体的内容としては子どもの成長・発達に応じた関わり方、家族支援のあり方、心理・教育アセスメント方法、教育課程や指導法を理解することを目標とする。	1	60人	幼一種免
8/18(水)				特支一・二種免 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

11 教育学概論

担当教員：田井 康雄

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/19(木)	人間存在にとって、「教育」とは不可欠かつ重要な意味を担う活動であるため、根源的な教育行為を深く理解するために、教育史および教育制度上で重要とされてきた教育の基本原則について解説する。本授業の目的は、幼児期の子どもの教育・保育に携わろうとする受講生が「教育とは何か」について理念を自ら探究し続けることができる基礎的知識と能力を高めることである。また、教育をめぐる様々な状況や、教育現場についての認識を踏まえ、最新のデータや話題を提供することにより、教師という仕事を様々な角度から考察する。	1	15人	幼一種免
8/20(金)				

12 特別支援教育基礎理論

担当教員：阿部 敬信

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/19(木)	特別支援教育の定義・理念・制度・動向について理解するとともに、特別支援学校の教育課程の編成について具体的事例を基に考察を深めることを通して、理解することを目標とする。さらに、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ「インクルーシブ教育システム」について理解することも目標の一つとする。また、今次の特別支援学校学習指導要領等の改訂による「学びの連続性」の確保についても、その実際について考察を深めていく。	1	60人	幼一種免
8/20(金)				特支一・二種免

13 病弱児教育総論

担当教員：猪狩 恵美子

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/21(土)	小児医療の進歩と社会環境の変化のなかで、現代の「病弱」「身体虚弱」の子どもの教育的ニーズをふまえて病弱教育の制度と指導の実際について学ぶことを目標とする。そのため、病弱児の心理・生理・病理の基礎的事項を理解し、治療や生活規制によって入院、自宅療養、地元校通学という生活・学習の場が変化する病弱教育における、連続した教育的支援の必要性を理解する。これらをふまえて、特別支援学校学習指導要領に基づいて、病弱教育における自立活動を含む教育課程の編成および指導法を学ぶ。	1	30人	幼一種免
8/22(日)				特支一・二種免 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

14 教育相談(カウンセリングを含む)

担当教員：堀内 ゆかり

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/23(月)	発達上気がかりな子どもが増えていると言われる昨今、子どもとその保護者の支援に関心が高まっている。本授業では、相談場面の特徴を理解し、対人援助における基本的知識や態度および技法について提起するとともに、具体的支援計画の立て方および保護者への応じ方について、模擬相談事例を元に解説する。相談に適切に応じ、支援するための、基本的知識や態度および技法を身につけることを目的とするとともに、具体的に想定される相談場面に、実践的に活用できるカウンセリングマインドを養うことをねらいとする。	1	15人	幼一種免
8/24(火)				

15 聴覚障害児教育総論

担当教員：阿部 敬信

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/23(月)	聴覚障害教育における教育課程の基礎的な知識と聴覚障害の特性に配慮した指導法について理解を図る。具体的内容としては、聴覚障害教育における制度・考え方の変遷および現状と課題、聴覚障害特別支援学校における教育課程(幼稚園、小学部、中学部、高等部、専攻科)、聴覚障害の障害特性に応じた指導法として具体的な事例を通して理解する。また、聴覚障害児の心理的特性と心理臨床の基礎を理解することに加えて、聴覚伝導経路や聴覚特性といった生理・病理に関する基礎的事項を理解する。	1	20人	幼一種免
8/24(火)				特支一・二種免 (知的障害者・肢体不自由者・病弱者)

16 子どもの造形表現 ※演習を含む

担当教員：富永 剛

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/25(水)	造形表現の楽しさや面白さを体得できるような絵画や工作などの実技演習を行い、保育者に必要な感性や豊かな表現力を身につけることを目指す。様々な道具の使い方や実践技術に触れることで実際の保育現場での表現活動を楽しく展開する指導法について学ぶ。また、最新の造形教育の実践例や幼稚園教育要領の内容について解説する。 ※作品・レポート等により評価します	1	15人	幼一種免
8/26(木)				

17 保育内容(人間関係) ※演習を含む

担当教員：森 暢子

講習日	科目の概要	単位数	定員	免許状の種類
8/27(金)	幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が示す「人間関係」の領域の基本的事項および領域「人間関係」のねらい、保育内容と活動の展開、指導案作成、援助の方法を学ぶ。 子どもを取り巻く環境の変化を理解し、子どもの成長に必要な経験を得られるよう、信頼関係を構築しながら適切な援助を行い、人と関わる力を育む保育の展開や保育者の役割について、多様な実践事例から理解を図る。情報機器及び教材の活用を含め研究を行いながら指導計画を作成し、模擬保育の演習を行う。	1	15人	幼一種免
8/28(土)				

● 時間割

時 限	1 日 目	2 日 目
1 時 限 目 (9 : 00 ~ 10 : 40)	①	⑤
2 時 限 目 (11 : 00 ~ 12 : 40)	②	⑥
昼食・休憩 (12 : 40 ~ 13 : 40)		
3 時 限 目 (13 : 40 ~ 15 : 20)	③	⑦
4 時 限 目 (15 : 40 ~ 17 : 20)	④	試 験

※1時限100分で実施します。(1科目：100分×7回+試験)
※休憩時間は講義または演習の進捗により変動することがあります。

2. 受講者の資格

- (1) 幼稚園教諭二種免許状を所有し、幼稚園、認定こども園に勤務している教員
(幼稚園教諭一種免許状取得希望者)
- (2) 特別支援学校教諭二種免許状を所有し、特別支援学校に勤務している教員
(特別支援学校教諭一種免許状取得希望者)
- (3) 幼稚園、小学校、中学校または高等学校の普通免許状を所有し、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校または特別支援学校に勤務している教員
(特別支援学校教諭二種免許状取得希望者)

● 免許法認定講習の申込前に、文部科学省の注意事項および福岡県教育委員会のホームページにある「教育職員免許状取得の手引き」を必ずご一読ください。

- 文部科学省 免許法認定講習・公開講座を受講希望の方へ(注意事項)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/menkyo/06062905.htm
- 福岡県教育委員会「教育職員免許状取得の手引き」
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/syutokutebiki.html>

3. 申込方法・申込期間

九州産業大学ホームページ(免許法認定講習)または右記のQRコードから申し込みください

※なお、申込完了後に受講票を送付いたしますので、あらかじめ受講票に貼り付ける写真(タテ4cm×ヨコ3cm)を必ずご用意ください。

免許法認定講習
申込QRコード



申込期間：6月14日(月)～7月10日(土) ※先着順に受け付けます。

4. 受講料

(1) 受講料

1科目(1単位)あたり11,000円となります。

(2) 受講料の支払い

受付締切後(7月中旬以降)にご登録の住所に圧着ハガキ形式の「払込依頼書」を送付します。

コンビニエンスストアで「払込依頼書」にて受講料を支払い、店舗印付「払込金受領証」を受け取ってください。払込金受領証を領収書とさせていただきます。

支払いの際は286円の払込手数料が必要となります。払込依頼書に記載の支払期限を過ぎますと、払込みができなくなりますのでご注意ください。

(3) 受講のキャンセルおよび受講料の返還

やむを得ない理由により、キャンセルをされる場合は講習前日までに必ずご連絡ください。

受講料納入後、受講できなくなった場合は、受講者からの請求に基づき、受講料(納入額から払込手数料を除いた額)を受講者の口座へ銀行振込により返還します。

そのため、キャンセルされる際には、本学所定の様式にキャンセル事由、預金口座、押印が必要です。

5. 受講に関する注意事項

- (1) 講習当日は、講習開始15分前までに受付を済ませてください。
- (2) 講習当日に持参するもの

持参物		内容および注意事項
①	受講票	・申込完了後、本学から受講票を送付いたしますので、受講票に顔写真を貼付の上、講習当日に持参してください。 ・受講票は、本人確認のために必要となりますので、必ずお持ちください。また、免許法認定講習参加において、共通してご使用いただけます。
②	筆記用具	・鉛筆・シャープペンシル・ボールペン・消しゴム等を持参してください。
③	時計	・単位認定試験の受験時に携帯電話を時計の代わりとして使用することはできません。 (講習の受講時及び単位認定試験の受験時は、必ず携帯電話の電源を切ってください。) ・教室には時計を設置していません。
④	昼食	・各自でご準備いただきますようお願いいたします。
⑤	その他	・講習によっては別途持参していただくものがあります。詳細は免許法認定講習ホームページに掲載しますのであらかじめご確認ください。

6. 受講者による事後アンケート

講習にあたりアンケートへのご協力をお願いします。講習終了時に配付しますので、ご記入ください。

7. 単位の認定

(1) 単位認定試験の実施

単位の認定は、筆記試験・レポート・実技・作品等で行います。実施方法は各講習により異なります。

(2) 受験資格

講習を5分の4以上受講しなかった方は、単位認定試験を受験することができません。

(3) 単位認定の評価基準

単位認定の評価基準は、試験等の点数が6割以上(100点満点の場合は60点以上)とします。
なお、成績評価は、合格・不合格で行います。

(4) 単位認定の結果

単位認定の結果は、全講習終了後約1ヵ月程度で送付します。

「単位修得証明書」は、免許法認定申請の際に必要となりますので大切に保管してください。

8. 受講上特別な配慮を必要とする方の受講について

身体に障害を有する等により、受講上特別な配慮を希望する方は、受講申込前に個別にご相談ください。
本学では、身体に障害を有する方にもご利用いただくために、キャンパス内の施設・設備の改善に努めておりますが、障害の状況により対応できないことがあります。申込の前に、必ず本学まで電話にてお問い合わせください。

なお本学では、次の事項については対応できませんので、あらかじめご了承ください。

- ①講座受講の際、また単位認定試験の参加時におけるノートテイク・手話通訳、移動補助者等の確保
- ②テキスト等、配付教材の点字化、拡大化、録音教材化、データ等への加工
- ③単位認定試験時間の延長
- ④点字化、拡大化、録音教材化等に加工したレポート、試験の答案用紙の提出

9. 個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の流出や不正使用を防ぎ適切に利用していくため、「九州産業大学個人情報保護方針(プライバシー・ポリシー)」に基づき、適正な利用、管理、保護に努めてまいります。ご提出いただいた個人情報は、免許法認定講習に関連する業務のみに使用します。

10. その他

(1) 傷害保険について

免許法認定講習の主催者として、免許法認定講習のための保険には加入しませんので、傷害保険等の加入は、受講者各人の判断により対応願います。

(2) 問い合わせ窓口について

九州産業大学 教務部 免許法認定講習担当

受付時間：月～金曜日 9：00～16：30(昼休み11：20～12：20を除く)

※ただし、2021年8月8日(日)～15日(日)の間は、

夏期休業期間のため事務取り扱い(電話及び窓口対応)ができませんので、ご了承ください。

〒813-8503 福岡市東区松香台2-3-1

TEL：092-673-5595

FAX：092-673-5959

E-mail：ksumenkyo@ml.kyusan-u.ac.jp

11. 新型コロナウイルスの対応について

本学の新型コロナウイルスの対応については、ホームページで随時更新しております。

なお、2021年度の講習に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によって、やむを得ず日程の変更や、中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<https://www.kyusan-u.ac.jp/other/support/covid19.html>

講習会場への交通アクセス・学内マップは、本学ホームページをご参照ください。

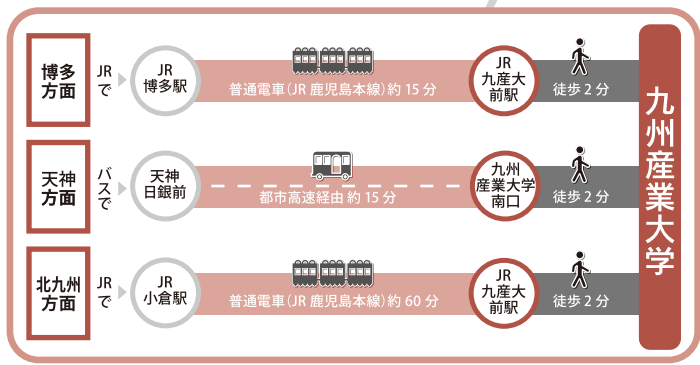
交通アクセス <http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/map/access.html>

学内マップ <http://www.kyusan-u.ac.jp/guide/map/campus.html>

講習会場への交通アクセス

会場：九州産業大学キャンパス

- ・原則として公共の交通機関のご利用をお願いいたします。
- ・自転車等でお越しの方は、駐輪場にとめてください。



講習会場学内案内図

